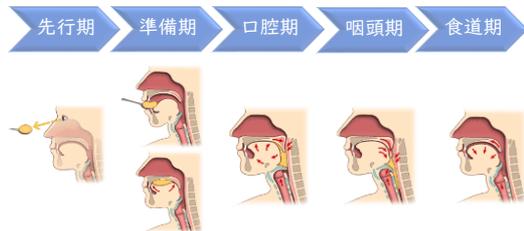


# ミニレクチャー 施設利用者の摂食嚥下機能 むせること

ケアマネジメント部会  
言語聴覚士 西脇恵子

1

## 摂食嚥下機能の過程 : 嚥下の臨床5期モデル



3

## 今日のお話

1. 摂食嚥下機能の過程
2. むせるとはどういうことか
3. むせに対する方法

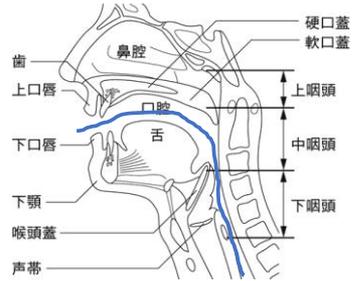
2

## 摂食嚥下障害の問題はたくさんある

- 食べるのが遅い
- 飲み込めない
- 咀嚼していない
- 食事に時間がかかる
- 栄養がとれない
- 肺炎になる
- 窒息したことがある
- むせる  
などなど。。。。

4

## 食べるときに使っている場所



Qlifeの田山先生の図を使用

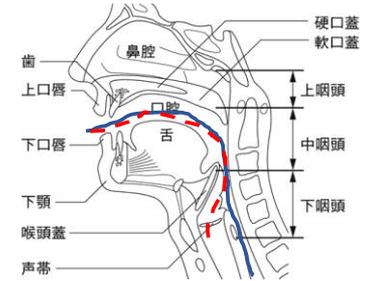
5

## むせるとは ということか

食物が  
喉頭内に侵入する  
声帯を通過して気道に  
侵入する  
(誤嚥)



異物が入ったことを  
感知する



Qlifeの田山先生の図を使用

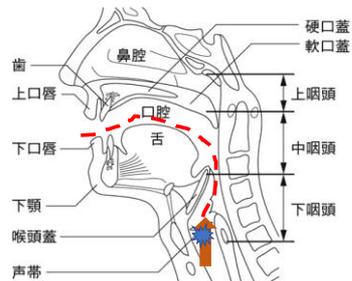
6

## むせるとは ということか

肺の中の空気を強い力で  
押し出す  
= むせる



気道の中にあつた食塊を  
空気のかで押し出す



リスクを回避する生体反応であるといえる

Qlifeの田山先生の図を使用

7

## むせに関する観察

- いつむせるのか
- どんなものでむせるのか
- むせなければ大丈夫なのか



8

## いつ おせるのか

- 普段からいつでも
  - 食事が始まった直後
  - 食事の途中から
  - 食後
  - 食事と食事の間
  - 寝ている間
- 食べ方との関連はあるか・・・上を向いて飲む、すするようにして飲む  
かきこむように食べる など
- 食器の違いがあるか

9

## どんなもので おせるのか

- 水分
- 固形物
- メニューによって  
みそ汁  
そば



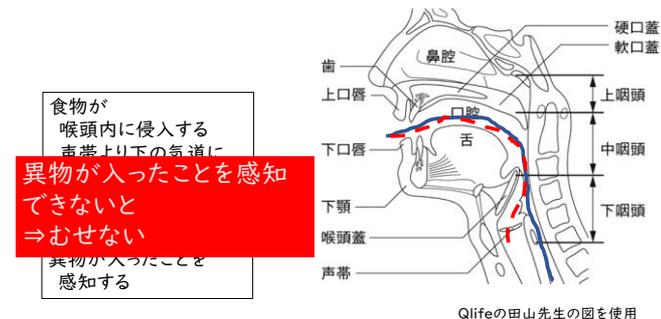
10

## おせなければ 大丈夫なのか



11

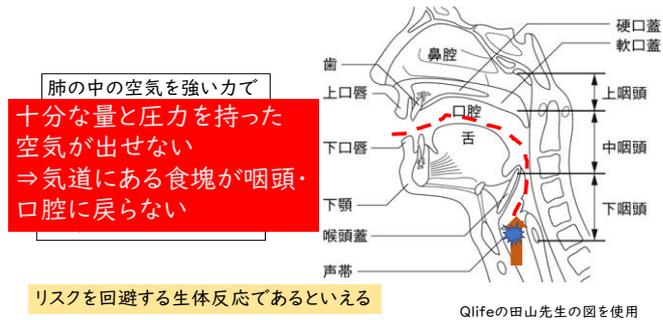
## おせなければ 大丈夫なのか



Qlifeの田山先生の図を使用

12

## むせなければ 大丈夫なのか



13

## むせに対する方法

- むせているときの対応
- むせる力の強化
- 「むせる」条件を改善する

15

## むせないのに 誤嚥する

- Silent Aspiration (むせない誤嚥, 不顕性誤嚥) という
- 不顕性誤嚥は誤嚥の30~70%を占めている
- チェックリスト
  - ✓ 高齢である
  - ✓ 普段から 声がかたかたしている
  - ✓ 痰が増えた
  - ✓ のどに食物などの残留感、違和感の訴えがない
  - ✓ 呼吸が浅い

14

## むせているときの対応

- きちんと「むせる」ようにさせる



16

## むせる力の強化

- 咽頭のケア⇒感覚の改善につながる  
 残留物や唾液などの分泌物の残留をきれいにする
- 呼吸に対するアプローチ⇒効果的な呼吸につながる  
 咳嗽訓練:強い息を効率的に出せるようにする  
 ロズぼめ呼吸:呼吸の圧力を強め、長く息を出せるようにする

17

## むせる条件を改善させる

- 食べ方の改善  
 食事の速度  
 丸のみするような食べ方  
 すするような食べ方  
 むせの起きやすい時期を考える  
 食具の変更  
 嚥下の意識化
- 努力嚥下
- 食形態の調整



18

## 食形態の調整

- むせが のみこみの途中で起きているのであれば 増粘剤による  
 とろみの付与は効果的である
- むせを引き起こす食品を避ける

19